

# 皆様の笑顔と幸せのために 喜んで働きます!

日頃よりご支援いただきありがとうございます。  
市政報告をお送りいたします。



川合 滋 足立 よしえ

皆様の笑顔と幸せのために喜んで働く、会派『喜働(きどう)』通信です。  
新しい時代を迎え、東京オリンピックの準備も順調だった最中のコ  
ロナ・ウィルス世界的な感染。

想定外という言葉が日常で聞かれることとなった今、予想できる未  
来には自衛官時代の危機管理能力を最大限生かし、会派として積極的  
に**改革・提案**、そして**柔軟に実行**していきたいと考えております。

『地域は、自立した住民の手で守る。』

皆様のお知恵や経験もお借りしたいと考えております。忌憚のない  
ご意見をいただけたら幸いです。

▼北原リハビリテーション病院



▲雲南市立病院

## 第 386 回定例会 (2019年6月議会)

### 山の維持管理について

#### 現状

名張市の総面積の約半分は山林。昨今は異常気象により、突発的豪雨や想定外のルートでの台風上陸などにより、浸水被害や土砂災害に見舞われております。昨年は名張市上空を2つの大型台風が通過。台風24号では土砂崩落が5件発生しています。

Q. 災害を防止するための治山事業などの公共事業をスムーズに進めるため、境界と所有者の明確化が必要と考えます。本市として今後どのように進めていきますか。

A. 本来は山主が維持管理すべきものであるが、1964年の木材の輸入自由化により値崩れを起こし、林業が低迷して中山間部から人がいなくなり、山が荒廃し、風水害の大規模化に繋がっています。今後、山の維持管理は社会化していかざるを得ず、森林環境譲与税※を使って森林の管理、境界の明確化を進めていく。

※森林環境譲与税……天間伐や作業道などの森林整備、林業の担い手育成、木材利用の促進や普及啓発の財源に充てるために創設される国税。



#### 要望事項

わが国の土地情報は、法務局に備えられた「公図」によって管理されていますが、これらの多くは明治時代に作成されたもので正確に現状を表しているとは言い難い。地籍調査を進めていくのが最善だが、経済的にも時間的にも難しいのが現状です。そこで、デジタルコンパス測量や高性能GPS測量などを駆使して**記憶を記録**に残していただきたい。

## 第 388 回定例会 (2019年9月議会)

### 通院の利便性向上について 通院手段の確保と利便性の向上について

#### 現状

現在、名張市立病院への通院手段としては、徒歩、自転車、スクーターなどのバイク、自家用車、三交バス、コミュニティバス、地域の生活支援の車、タクシー、送迎車があるかと思えます。

Q. 名張市立病院への通院手段を公共交通の視点から考えた時、三交バス、コミュニティバス、地域の生活支援の車、タクシーが該当します。その中でも乗り継ぎ無しで行ける車両や本数は限られています。市民の健康や命を守る市立病院への通院手段の確保と利便性の向上について、どのようにお考えですか。

A. 定時定路線のバス交通と個別輸送の中間的な役割を担う乗合タクシーについて市内の複数のタクシー事業者への聞き取りをしました。運転手のなり手不足と高齢化により、車両があっても配車が出来ない現状があります。既存事業者との連携による通院を含めた乗合タクシーのただちの事業化は困難。引き続き他の方法も検討中です。

#### 要望事項

徳島県上勝町では、**自家用車(マイカー)を利用した移動支援**を行っています。全国の事例を参考にして、あらゆる可能性を探っていただきたい。





## 地域包括ケア病棟の運営開始について

### 現状

名張市立病院は急性期の病院で 200 病床あります。急性期病院とは、急な病気や怪我・持病の急性増悪などで重症・緊急に治療が必要な状態の患者に対して、入院や手術・検査などの高度で専門的な医療を行う病院です。入院期間は 2 週間程度と短い期間が一般的です。

Q. 来年 4 月を目標に名張市立病院に地域包括ケア病棟を導入する方向での説明がありました。地域包括ケア病棟は急性期治療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受け入れ及び患者の在宅復帰支援等を行うところです。在宅復帰を目指すにはリハビリの充実が求められますが、どのように取り組まれる予定ですか。

A. リハビリは急性期と回復期の 2 種類があります。今までは急性期のリハビリのみの実施で、機能回復が見込まれるようになったら回復期リハビリを行う病院を紹介し、転院通院をお願いしていました。今後は安心して自宅に戻れるよう、切れ目のないリハビリを受けながら退院準備を進めることが出来る予定です。



### 要望事項

『COGY(あきらめない人の車いす)』の活用や積極的な自宅でのリハビリ実施により、1 日でも早い自宅復帰・社会復帰を目指していただきたい。

## ★政務活動報告★



### ○地域医療『日本一』を目指す市立病院

☆雲南市立病院 (島根県)

- ・平成 16 年度の新臨床研修制度導入後、医師不足に陥った。

#### 取り組んだこと

- (1) 地域に必要な人は、地域で生み育てる。
- (2) 救急を断らない、なんでも診る。在宅医療の推進
- (3) 地域に開かれ、地域に親しまれる病院づくり
- (4) 地域住民による地域医療活動
- (5) 人と地域の絆が生まれる
- (6) 行政の新たな仕組みからアプローチ

- ・平成 26 年：地域包括ケア病床 開設
- ・平成 28 年：地域ケア科(病院での総合診療を担うとともに、病院入院から在宅医療までを一貫して行う科)新設

### ○有償自家用車(マイカー)ボランティア交通

☆興隆寺マイカーボランティア交通による地域の移動支援事業 (兵庫県淡路市)

- ・国交省との連携事業で地域の厳しい状況を伝え、個人の自家用車を利用したマイカーボランティア移動支援が実施できた。
- ・更には、スクールバス(白ナンバー、緑ナンバー共に有り)を活用して地域の移動支援を行っている。

☆新たな自家用有償旅客運送事業『やぶくる』(兵庫県養父市)

- ・国家戦略特区による道路運送法の特例ではあるが、市民ドライバー(自家用車活用)で移動支援を行う。今後、国としても道路運送法の改正を検討し、各地で取り組みやすい方向に進む予定。
- ・観光での移手段の確保としても活用されている。

皆様からのご意見、  
ご要望をお待ちしています。

発行：会派「喜働(きどう)」  
住所：名張市鴻之台 1 番町 1 番地  
電話番号：090-3564-5380(川合 滋 直通)  
：090-7898-9453(足立 よしえ 直通)  
ホームページ：http://www.adachiyoshie.jp